社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）北見林業土木協会

活動内容	ワッカ原生花園付近の環境整備をボランティアで実施

１　実施年月日　：　平成２９年　９月１５日(金)
２　実施場所　：　北海道北見市所町栄浦　網走中部森林管理署管内
　　サロマ湖畔自然休養林
３　参加会員数　：　網走中部森林管理署、北林会、森林林業振興会など３０名
　　（当協会：１５企業、１６人）
４　活動内容：

網走中部森林管理署は、約１１万ｈａの国有林を管轄していますが、オホーツク海とサロマ湖に挟まれた砂州にはサロマ湖自然休養林が設定されています。、また、この地域にはハマナスやサンゴ草など､オホーツク特有の植物が生育しているため、ワッカ原生花園が設定されています。

ここには、以前に緑化植物としてイタチハギが導入されましたが、繁殖力が非常に強いため、生態系の維持や景観確保、一部では歩行にも支障となっています。

このため、森林管理署では、平成２２年度からイタチハギの駆除に取り組んでおり、当協会も他の団体と共に、ボランティアとしてこの活動に協力してきました。

作業当日、参加者は手分けして、原生花園の中でイタチハギを手作業で刈り取りや、サロマ湖公園線沿道でのゴミ拾いを行いました。刈り取ったイタチハギは全部で６１０ｋｇにもなりましたが、イタチハギを撲滅させるまでには至らないため、当協会は今後ともこの作業に協力していく考えです。

なお、このボランティア活動の様子は、読売新聞地域版などにも好意的に掲載されました。

活動写真

ボランティア作業の開会式の様子

イタチハギの刈り取り作業

道路沿線でのゴミ拾い作業